

納入事例

CLUB CITTA' 様

DiGiCo 「Quantum 338」 「SD-Rack」 「SD-MINI Rack」

2024年6月 運用開始

CLUB CITTA' (クラブチッタ) 様は、スタンディングで1,300人収容の大型ライブホールです。1988年のオープン時より国内外の著名アーティストによるパフォーマンスが繰り広げられ、2002年に複合商業施設 LA CITTADELLA (ラ チッタデッラ) の中核施設として現在の場所に移転。川崎の地でエンターテインメントを提供し続けています。

この度、熱狂のステージを支える FOH コンソールとして、DiGiCo の「Quantum 338」が納入されました。株式会社クラブチッタ 舞台制作事業部部長 山室 亨氏にお話をうかがいました。



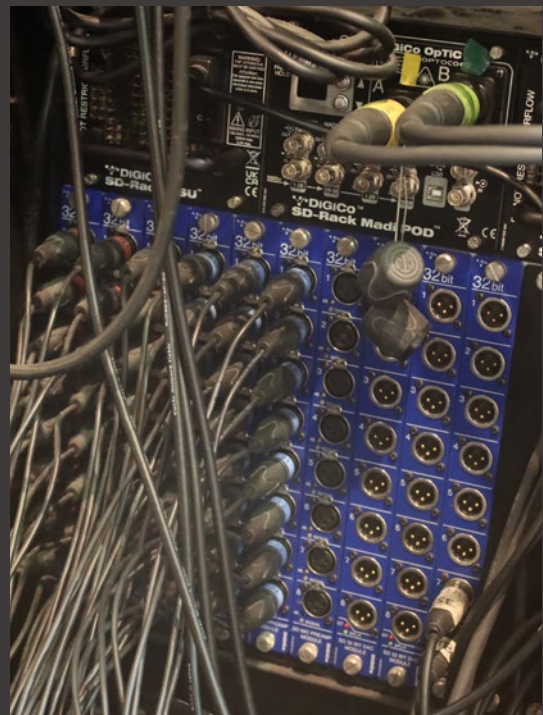
▲CLUB CITTA' を象徴する星形のトラスと DiGiCo 「Quantum 338」

— 今日はお忙しい中、ありがとうございます。早速ですが Quantum 338 導入の経緯から教えてください。

山室 コンソールは、2002年のリニューアル時の移転当初はアナログ卓でしたが、2012年に DiGiCo のデジタル・ミキシングコンソール「SD8」を導入しました。その後、2019年に MaDi-Rack の生産中止の発表を受け SD-Rack に更新することになり、音のグレードアップを狙って 32bit カードも導入。そして、今年6月中旬に Quantum 338 を導入しました。



▲Quantum 338 と足元に置かれた SD-MINI Rack。
SD-MINI Rack も I/O のすべてが 32bit カード



▲ステージ袖の SD-Rack すべて 32bit カードを採用

— CLUB CITTA' の大きな強みになりそうですね。

山室 そうですね。導入を決めるまで、いろいろな人に聞いたところ評判がとても良かった。海外アーティストからの問合せでも Quantum 338 を使いたいとオーダーされるので、弊社にも入れたいという強い思いがあって実現できました。

— 操作性について SD8 と大きく変わった点がありますか？

山室 いろいろとできることが増えたのでとても面白いですね。



▲舞台制作事業部部長 山室 亨氏

— 例えばどんなところに面白さを感じていますか？

山室 Mustard Processing や Spice Rack が加わり、EQ もパラメータが増えて、音を処理するポイントが増えたので、楽しいですよ。

— お気に入りは何ですか？

山室 Mustard Processing が気に入っています。特に dbx のような感覚のするヴィンテージ VC、1176 っぽい掛かり方をするコンプも気に入っています。搭載されている 4 つはどれも好きですね。

また、コンソールのレスポンスも早い。SD8 も良かったのですが、Quantum 338 は音を作っているときに、EQ やコンプを簡単に掛けられます。



▲Mustard 操作画面

— 導入してからどれくらい経ちましたか？

山室 6月の中旬だから、まだ1ヶ月ちょっとです。

— でも、そこまで使いこなせているんですね。

山室 SD8 で慣れていたので、すんなり入れました。操作性に対してはまったく何も問題ないですね。Quantum 338 は操作がわかりやすいと、アナログ好きな年配オペレーターが話していた、というのを耳にするくらいです。

——オペレーターからの反応はいかがでしょう。



山室 CLUB CITTA' は、約 80%が乗り込みなのですがベタ褒め状態です（笑）。特に音の評判が良く、とても素直な音で自分の思った通りの音がすぐに出せるとおっしゃっています。

僕も実際に触っていて、入ってきた音に対して忠実な印象を持っています。それに何かパワー的には 3 倍くらい違うイメージがあるのですが、そのパワー感だけが前面に出るのではなく、素直な音なのです。例えば家でオープン型ヘッドホンを使って聴いてきた曲を Quantum 338 で出しても、イメージがあまり変わらない。もちろんライブハウスで出る音と、スタジオでレコーディングされた音は違いますが、音像がとても近くなりました。

そこはすごいなと思っているところです。たぶん音の分離や解像度がとても高くなったのでしょうね。

また、弊社では海外招聘もしていて、イタリア人のオペレーターが、リハを終えてから「音がすごく良い」と何度も言っているよと、プロモーターが教えてくれました。

CLUB CITTA' は、ラウドロック的なバンドが演奏するライブハウスというイメージが強いんです。だから、大音量を出すバンドが多く、SD8 では良い意味で暴れている感じの音も出せるという感覚がありました。その音を知っている人も Quantum 338 を聴くととても良くなったとおっしゃいます。

あとはシーケンサーを使うバンド。これまではシーケンス関係の音は埋もれてしまうから、どう処理しようか考えながらオペレートしていたのです。それが Quantum 338 はフェーダーを上げるだけで、きちんと聴こえるようになりました。

—— Quantum 338 を導入したとき、システム・チューニングはされましたか？

山室 僕も必要かなと思い測定したのですが、何も変えるところはありませんでした。

—— DMI カードは活用されていますか？

山室 Dante のカードを入れています。SD8 時代はライブレコーディングを MADI で録って、モニター卓の Dante で録っていたことがありました。それが、Quantum 338 に Dante のカードが入っているので、これだけでライブ録音が成立するようになりました。



▲ Quantum 338 のリアパネル。オプションの Waves 端子と、64in/out @ 48kHz/96kHz の Dante 対応 DMI カード「MOD-DMI-DANTE2」を装填

あとは Dante で使用できる VST プラグインが、どのくらい出てくるのかに注目しています。乗り込みのオペレーターも、プラグインを使いたいと持ってきますからね。今後は Dante を使って、VST プラグインを使いたいというオペレーターがもっと増えそうな気がしています。なにより自分自身が使ってみたくいですからね（笑）。プラグインが PA コンソールで使用できるようになるのは、とてもわくわくしています。



インタビューを受けてくださった山室 亨氏。ありがとうございました。

●主要な納入機材

| 機材 | ブランド名 | 製品名 |
|------------------|--------|----------------------|
| デジタル・ミキシング・コンソール | DiGiCo | Quantum 338 |
| I/O ラック | DiGiCo | SD-Rack、SD-MINI Rack |

CLUB CITTA'

〒 210-0023
 神奈川県川崎市川崎区小川町 5-7
 TEL : 044-246-8888
 URL : <https://clubcitta.co.jp/>



●お問い合わせ先
 ヒビノ株式会社 ヒビノマーケティング Div.
 ヒビノインターサウンド株式会社

TEL : 03-5419-1550
 TEL : 03-5419-1560

HIBINO hibino group